

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和2年9月10日(2020.9.10)

【公表番号】特表2019-530183(P2019-530183A)

【公表日】令和1年10月17日(2019.10.17)

【年通号数】公開・登録公報2019-042

【出願番号】特願2019-517121(P2019-517121)

【国際特許分類】

H 01M 10/052 (2010.01)

H 01M 10/0567 (2010.01)

H 01M 10/0568 (2010.01)

H 01M 4/13 (2010.01)

H 01M 4/62 (2006.01)

【F I】

H 01M 10/052

H 01M 10/0567

H 01M 10/0568

H 01M 4/13

H 01M 4/62 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】令和2年8月3日(2020.8.3)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0038

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0038】

比較例1

正極：

正極活物質として平均粒径10 μm を有するLiNi_{1/3}Co_{1/3}Mn_{1/3}O₂(NCM111と略記)を用いた。正極スラリーは、正極活物質：PVDF：カーボンブラックを重量比で89:4:7に配合し、厚さ15 μm のAl集電体の上に200g/m²の坪量で堆積させた。正極の密度は2.8g/cm³に制御されている。

負極：

12 μm の平均粒径と5m²/gの比表面積を有する球状天然黒鉛を負極活物質として用いた。負極スラリーは、活物質：CMC：SBR：カーボンブラックを重量比で92:2:2:4で配合し、20 μm 厚のCu箔上に90g/m²の坪量で堆積した。負極の密度は1.4g/cm³に制御されている。

セル：

このようにして得られた正極および負極を、多孔質ポリプロピレンセパレータを介して積層した。得られた積層体と、以下のように調製した電解液は、テストセルを作製するアルミニウムラミネート容器に密封した。該セルのエネルギー密度は200Wh/kgに設計された。

電解液：

1モル/LのLiPF₆を、EC/DEC=3/7の混合溶媒に溶解して電解液を調製した。